



名古屋市

- |                 |                 |             |
|-----------------|-----------------|-------------|
| 黒田太郎 (千種区)      | 副団長 高木ひろし (瑞穂区) | 森井もとし (守山区) |
| 常任顧問 塚本 久 (北区)  | かじ山義章 (熱田区)     | 中村友美 (緑区)   |
| 鳴海やすひろ (中村区)    | 西川厚志 (中川区)      | 富田昭雄 (名東区)  |
| 幹事長 谷口ともみ (昭和区) | 安井伸治 (港区)       | 水谷満信 (天白区)  |
|                 | 久野てつお (南区)      |             |

尾張地区

- |               |                          |
|---------------|--------------------------|
| 団長 高橋正子 (一宮市) | 総務会長 鈴木 純 (稲沢市)          |
| 長江正成 (瀬戸市)    | 佐波和則 (東海市)               |
| 朝倉浩一 (半田市)    | 河合洋介 (知多郡第二)             |
| 日比たけまさ (春日井市) | 福田喜夫 (日進市及び愛知県)          |
| 天野正基 (小牧市)    | 安藤としき (清須市、北名古屋市及び西春日井郡) |
|               | 黒川節男 (あま市及び海部郡)          |

三河地区

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 浅井よしたか (豊橋市)      | 政策調査会長 中村すすむ (豊田市) |
| 西久保ながし (岡崎市及び額田郡) | 樹神義和 (豊田市)         |
| 鈴木まさと (岡崎市及び額田郡)  | 嶋口忠弘 (安城市)         |
| おおたけりえ (豊川市)      | 渡辺 靖 (西尾市)         |
| 永井雅彦 (刈谷市)        | 小山たすく (みよし市)       |

# 新政あいち県議団 県政レポート



県政に対するご意見、本紙に対するご感想などをお寄せください。

2018年度 政策PR号 No.1

編集・発行／新政あいち県議団 〒460-8501 名古屋市中区三の丸3丁目1-2 愛知県庁内 代表電話 052-961-2111 FAX 052-961-3766

新政あいち県議団とは

地域のことは地域で決める!の想いで、政策集団「新政あいち」に集った愛知県議会議員の会派です。6月議会現在、党派を超えて34人が参加し、県議会の第二会派を担っています。生活者・勤労者の視点、また現場主義で、これまでも県議会での提言を重ねてきた仲間たちです。

## 地域に根ざした政策の実現を目指します!



## 提言し、改革する「新政あいち県議団」

私たちは、愛知県政に対し、県民の皆さまの声をもとに、新たな視点での提言を重ねてきました。現場の声を聴き、地域に根ざした政策を推進するため、こつこつと提言し続け、一步一步改革してきた成果の一端をご紹介します。

### 子どもたちの輝く未来に向けて

2年間にわたって取り組んだ「子どもの貧困問題研究会」での研究をもとに、子ども食堂の普及やひとり親家庭の課題に対する提言をしました。

真に必要なニーズに対応するよう子どもの貧困対策を訴え続け、県では「愛知子ども調査」が行われました。調査によって課題が焦点化され、具体的な施策の推進につながっています。



### 産業の発展と働く人へのサポート

産業の振興は、わが団の中心施策の一つです。人材育成や環境整備の必要性を求めてきたことが、自動車税への配慮や技能五輪の誘致などにつながっています。

現在、人材不足が大きな課題です。また、仕事と育児・介護の両立や外国人の就労の課題もあり、団では県民の皆さまにアンケートを実施し、多くの方から具体的な困難さについての意見を伺いました。それらの声をもとに、女性の活躍促進や高齢者の就業機会の拡大などの成果につなげています。



### 「障害者差別解消推進条例」「公契約条例」等の実現

障害者差別をなくすため、また県が発注する公共事業がその仕事に携わる方全てにしっかりと利益が還元されるよう、当事者のご要望を粘りよく訴え、県のルールである条例の制定に至りました。条例をもとに、障害者施策の推進や公契約の適正化を求めています。

また、議員提案条例の策定を積極的に他の会派に訴えています。



### 愛知県議会議員選挙の公報発行

議会改革推進の一つの方策として求め続けてきた選挙公報が次の選挙から、ようやく発行されます。多くの市町村議会議員選挙で発行されているにもかかわらず、愛知県議会議員選挙では発行されていませんでした。さらなる議会の活性化、投票率の向上など、県民の皆さまの意見が反映されやすい議会にするための取組をすすめます。



### CONTENTS

2~3ページ  
成果にコミットする、地域で活躍する議員

あなたの地域の各議員が、持ち味と想いを発揮。議会活動で、そして地域の中での取組みと成果・実績を紹介しします!

4ページ  
新政あいち全メンバーを紹介

◆あなたの地域の県政相談窓口です。

提言し、改革する県議団

◆取組みの成果の一端を紹介しします。

1 改革を志す仲間の議員が一つに結集し、働く人・生活者に寄り添う現場に根ざした政策の実現に向けて連携していきます。

2 地方分権・議会改革など、地方自治体議員が前進させていく政策課題を共有し、確かな実績を積み上げていきます。

3 愛知県の特性である、産業集積拠点の強みを生かし、そこで培われた経済活力を地域住民の生活向上につなげていきます。

4 地方の自立に向けた機運を高められるよう、他県の仲間とも連携して新たな地方自治・住民自治のあり方を提起していきます。

新政あいちが目指すもの!

県議団ホームページ & facebook を開設しました。

わが団の今年度方針の一つに、活動の「見える化」の推進として広報の充実強化を掲げさせて頂いております。その活動の一環として「新政あいち県議団」ホームページをリニューアルし、Facebookページを開設しました。

県議団の活動をタイムリーに発信していきますので、是非一度アクセスしてください!



<http://shinsei-aichi-kengidan.com/>





## 愛知県 尾張地区

OWARI

### 活躍する団員たち!



**団長**  
**高橋正子**  
(一宮市、4期)

- ◆産業労働委員会
- ◆中京大都市圏形成調査特別委員会理事

平成27年6月議会において、子どもの貧困対策として「ちゃんご飯が食べられない子ども達への“食”への支援」について質問。その後、愛知子ども調査が実施され、子ども達に温かい食事や居場所を提供する「子ども食堂」が各地で開設。現在では、子ども食堂の設置支援が重点施策に。会派内でも「子どもの貧困問題研究会」を立ち上げ、2年間にわたって施策提言に尽力しました。

後、愛知子ども調査が実施され、子ども達に温かい食事や居場所を提供する「子ども食堂」が各地で開設。現在では、子ども食堂の設置支援が重点施策に。会派内でも「子どもの貧困問題研究会」を立ち上げ、2年間にわたって施策提言に尽力しました。



**長江正成**  
(瀬戸市、3期)

- ◆総務県民委員会理事
- ◆中京大都市圏形成調査特別委員会

平成29年6月議会で、1997年から21河川、総延長35kmの区間で整備した「水辺の緑の回廊事業」の実施要項を見直し、周辺環境に合わせて高木の割合を変え、計画段階から地域と十分に話し合うこととしました。その為に、最初に実施した山口川(瀬戸市)の自然環境調査を実施すると答弁をいただきました。また会派内では食品廃棄物の不正転売再発防止に向けて、食品関連業者の対策になる「食品ロス問題研究会」を設置して活動してきました。



**副総務会長**  
**朝倉浩一**  
(半田市、1期)

- ◆農林水産委員会
- ◆名古屋競輪組合議会

平成29年2月議会で、新たな「あいち自殺対策総合計画」策定への進捗状況と職場のメンタルヘルスなど勤務問題からの自殺対策や子ども・若者の自殺対策について、取組みの方向性を質問。結果、強い心理的負担を受けた場合などの対処の仕方を身に付ける教育を計画的に位置づける取組みや、若者が孤立することなく、自らの存在を大切に思うことができる支援体制を検討するなど答弁をいただきました。



Commit!



**日比たけまさ**  
(春日井市、2期)

- ◆健康福祉委員会委員長
- ◆安全・安心対策特別委員会

交通事故抑止に取り組んでいます。平成29年2月議会にて、歩行者が横断歩道を渡る際の車両取締りの強化(歩行者が横断しようとしている場合、横断歩道の手前で一時停止)、交通安全教育の徹底および広報の充実について質問。現在、県内全域で歩行者保護の意識を高める取組が進められています。また、地域活動(春日井市)では、交通危険個所の信号設置を始めとした安全対策の推進に努めています。



交通安全教育の徹底および広報の充実について質問。現在、県内全域で歩行者保護の意識を高める取組が進められています。また、地域活動(春日井市)では、交通危険個所の信号設置を始めとした安全対策の推進に努めています。



**天野正基**  
(小牧市、3期)

- ◆振興環境委員会委員長
- ◆文化・スポーツ・観光振興対策特別委員会

平成28年2月議会、貧困の連鎖を断ち切るため生活困窮家庭の子どもへの学習支援の充実を図るべきことや、翌29年2月議会では児童虐待による最悪のケースを防ぐためには、躊躇なく一時保護を行うべきとの質問を行いました。児童虐待の質問については、県の答弁は「初動対応が重要で、迅速で的確な一時保護を実施するため児童相談所の機能強化を図る」と、スピーディな取組の必要性を強調する答弁をいただきました。



**鈴木 純**  
(稲沢市、3期)

- ◆産業労働委員会理事
- ◆名古屋港管理組合議会

平成30年2月と6月議会で、本県における刑法犯の検挙者に占める再犯者の割合は年々上昇していることから、犯罪や非行をした者の円滑な社会復帰を促進する再犯防止対策を質問。県民が安全で安心して暮らせる社会を実現する上で、愛知県弁護士会の刑事処遇に関する委員会と連携し「寄り添い弁護士制度による社会復帰支援」を本県が提出する「地域再犯防止推進モデル事業」に盛り込み、法務省の採択を受けることになりました。



**総務会長**  
**佐波和則**  
(東海市、2期)

- ◆産業労働委員会
- ◆文化・スポーツ・観光振興対策特別委員会

平成29年2月議会で、人が住まわずに老朽化した「空き家対策」を質問。結果、2017年度に「空き家」の撤去や跡地活用に取り組む市町村へ補助制度を創設することとなりました。所有者が撤去する場合や空き家の跡地にポケットパークや防災倉庫などを設置する場合は5分の1、交



流施設などとして利用する場合は6分の1を補助するなど、県として市町村の対策を支援することになりました。



**河合洋介**  
(知多郡第一、2期)

- ◆産業労働委員長
- ◆愛知県競馬組合議会

平成26年12月議会で県政史上初めて「クラウドファンディング」を活用した資金調達による中小企業支援や起業、新規事業進出支援を提案しました。他県の先進事例を紹介しつつ、提案した内容に当時の担当部局もさすがに馴染みがない様子でしたが、翌年度には県の施策に採用。さらに、平成28年産業労働委員会でも施策の深化を提案し、現在では前向きに動くなど成果をいただいています。



**福田喜夫**  
(日進市及び愛知郡、1期)

- ◆建設委員会
- ◆名古屋港管理組合議会

南海トラフ地震の発生が危惧される中、平成28年9月議会で「広域避難と相互応援」を提言し、平成29年4月愛知県は市長会及び町村会と大規模災害時の相互応援協定を締結。これにより愛知県知事の要請に基づき被害の少ない市町村が避難者を受け入れたり、災害救助、応急復旧、復興支援に職員を派遣する体制を整えました。今後も安心安全で活力ある愛知をめざし、災害に強い街づくり政策を提言していきます。



**安藤としき**  
(清須市、北名古屋及び西春日井郡、3期)

- ◆産業労働委員会
- ◆産業振興・環境対策特別委員会

交通事故死亡者数、住宅侵入盗など犯罪件数が全国ワーストの愛知県。県民の安心・安全を担う警察官数が条例で定数を定めています。しかし、警察官の実数は定数を200人以上下回る欠員状態となっており、平成29年2月議会警察委員会で受験資格年齢を引き上げることや、体験型就職説明会、警察ふれ愛フェスタなどの各種イベントを通じて優秀な人材の確保を図っていく取組みの提案をしてきました。



**黒川節男**  
(あま市及び海部郡、7期)

- ◆農林水産委員会理事
- ◆名古屋港管理組合議会

高校跡地を活用した障がい者支援学校の建設に道を開きました。高校入学の適齢人口減少に伴い「県立高等学校再編整備計画」が作成されました。この中で、統合の対象になり、廃校が予定されている高等学校の跡地を活用することにより、障がい児者の増加による教室不足などが生じ、過大化が問題になっていた特別支援学校(心身障がい者養護学校)の新設を本会議にて提案。それを受けて平和高校跡地に「稲沢特別支援学校」が新設されました。







愛知県

名古屋市

NAGOYA

活躍する団員たち!



黒田太郎

(名古屋市千種区、1期)

- ◆警察委員会
- ◆産業振興・環境対策特別委員会



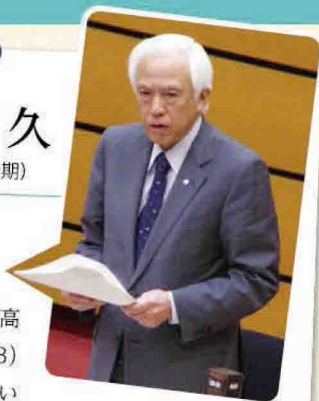
歩道がなく、自動車交通量の多い片側二車線の道路に電柱が一本立っており、歩行者はこれを回避して歩くためかなり車道に食い込むこととなり、危険性が指摘されていた道路がありました。そこで県警と協議して電柱を撤去することも検討しましたが、権利関係の複雑な電柱の撤去は困難。このため、歩行者と車がそれぞれの通行範囲を認識しやすくするため、白線を描くことで歩行者と車の接近が回避できるようにしました。



塚本久

(名古屋市北区、10期)

- ◆建設委員会理事
- ◆愛知県競馬組合議会



平成29年2月議会において「高濃度ポリ塩化ビフェニール(PCB)廃棄物の適正処理の推進」について質問。毒性が強く、全量処理が義務化されている「PCB」の処理状況の事態で、県は平成28年3月現在、蛍光灯の安定器約400トン、変圧器など2,300台が未処理となっていると公表。特に安定器は数が多すぎるため、把握漏れがないように18年度に民間業者を調査する方針であると環境部長から答弁がありました。



鳴海やすひろ

(名古屋市中村区、1期)

- ◆振興環境委員会
- ◆中京大都市圏形成調査特別委員会



援助や配慮を必要としていることが外見からは分かりづらい方が、着用することで周囲の方に配慮を必要としていることを知らせ、援助が得やすくなる「ヘルプマーク」の普及について、難病と闘う友人を連れて知事に普及を直接陳情。県議会本会議でも質問し、知事からは早期の導入をすると前向きな答弁も!その後、平成30年7月20日から県内での配布が決定。県内での周知啓発活動も30年度からスタート。パートナー制度も新設されることになりました。



ヘルプマークの普及推進▶



幹事長

谷口ともみ

(名古屋市昭和区、3期)

- ◆総務県民委員会
- ◆人づくり・福祉対策特別委員会理事



教員出身議員として、教育の充実を求め続けています。また子どもや若者、女性が安心して元気に暮らせるよう、虐待や貧困問題、性暴力被害などの質問を重ねています。JKビジネスの質問後には、愛知県青少年保護育成条例が改訂され、全国に先んじて、青少年が犯罪に巻き込まれないための規制や、「JKビジネス」は危険!!の啓発が進んでいます。他にもUIターン者の県の取り組みの課題を指摘し、その後の施策の展開につながっています。



◀「名古屋市子ども適応相談センター」視察



副団長

高木ひろし

(名古屋市瑞穂区、4期)

- ◆警察委員会
- ◆名古屋港管理組合議会



愛知県では交差点での死亡事故が多発していることから、交差点で歩行者が横断する時に車の通行を完全に止めるスクランブル方式の「歩車分離式信号」の普及を提唱。設置数が急増したことで交通事故の抑止効果も!その他、障害児・生徒の高校進学のための条件整備として、受験改革やエレベーター設置などについて議会で声を上げてきました。部落解放県共闘会議副議長も務めています。



生徒の高校進学のための条件整備として、受験改革やエレベーター設置などについて議会で声を上げてきました。部落解放県共闘会議副議長も務めています。



かじ山義章

(名古屋市熱田区、4期)

- ◆健康福祉委員会理事
- ◆産業振興・環境対策特別委員会



夏季における本会議、委員会出席時の服装について、地球温暖化防止対策などの観点から6月1日から9月30日までの期間「クールビズ」を提案。



写真は平成23年6月議会。



西川厚志

(名古屋市中川区、4期)

- ◆文教委員会
- ◆愛知県競馬組合議会議長



大村知事と、河村市長との共同公約に掲げられた減税政策、中京圏構想についてその効率性と現実性の観点から再三、本会議等で追及してきました。結果、個人県民税減税分については、重症心身障害児者施設の建設を加速させるための基金として活用されました。中京圏構想にいたっては、両首長の意思の違から事実空中分解し、現在「中京大都市圏構想」としてまっとうな姿となって愛知ビジョンに位置付けられています。



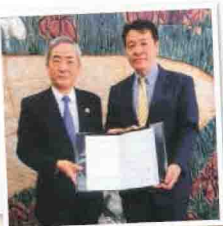
副政策調査会長  
安井伸治

(名古屋市港区、1期)

- ◆農林水産委員会副委員長
- ◆安全・安心対策特別委員会



平成28年一般質問で、愛知県バス協会との災害時における協定書を避難者を含め、透析患者のように維持治療をしなければならない被災者にまで範囲を広げ、広域避難を可能にしました!また、平成29年度には、余震による避難所の二次被害を防ぐため、応急危険度判定士講習の受講対象者を災害対策委員や消防団員にまで広げ、愛知県民の安心安全のための施策に尽力しました!



久野てつお

(名古屋市南区、3期)

- ◆警察委員会
- ◆産業振興・環境対策特別委員会委員長



平成27年12月議会で「航空宇宙産業を支える人材の育成」について質問し、教育長からはMRJやボーイング787の生産活動が拡大していく中で、「工業高校の学科改編や教育課程の見直しを検討する」と答弁をいただきました。愛知総合工科高校では、先端技術システム科に「自動車・航空産業コース」を設置して、民間企業と連携しながら現場実習をしていくとのことでした。



森井もとし

(名古屋市守山区、3期)

- ◆健康福祉委員会
- ◆名古屋競輪組合議会



次の世代にしっかりと受け継いで行ける愛知のために、ものづくり愛知の更なる飛躍をめざしロボット産業を始めとする次世代産業への支援と同時に、介護分野をはじめ多くの産業分野、とりわけ中小企業で顕著になっている働き手不足対策として、退職者や外国人の活用策などに取り組んでいます。また放課後児童クラブ(学童保育)など子育て支援の分野にも活動の幅を広げています。



中村友美

(名古屋市緑区、8期)

- ◆文教委員会理事
- ◆名古屋港管理組合議会



平成26年2月と平成28年6月の議会一般質問で、セクシャルマイノリティとして「LGBT」の人たちへの県としての認識と施策について質問しました。性の在り方は多様であり、人生そのものと深く結びついています。行政としても重要な人権の観点と捉え「あいち男女共同参画プラン2020」の中で、性的少数者への理解促進等を記載したことで「LGBT」の理解は大きく広がり、各地で講演会やセミナーの開催が増えています。



富田昭雄

(名古屋市名東区、4期)

- ◆農林水産委員会
- ◆名古屋競輪組合議会



本県の教育問題には信念をもって取り組んできました。愛知県の全日制の高校の進学率は全国最下位です。成績によっては、全日制は高校へ入ろうとしても公立も、私立も入れてもらえない。特に私立は愛知県全体で2000人近くも定員割れをしても生徒を取らない学校がいくつもあります。望めば誰でもがどこかの高校へ入れる愛知県にしたい!今後ともしっかりと教育問題には取り組みます!



議会運営委員会副委員長  
水谷満信

(名古屋市天白区、3期)

- ◆建設委員会
- ◆文化・スポーツ・観光振興対策特別委員会



東海豪雨により、天白川は激特災害指定を受け、河口より工事が行われました。川幅の拡幅により、洪水敷にあった緑地やサイクリングロードが失われる危機に直面しましたが、愛知県の理解を得て、歩道とサイクリングロードを兼ねた通路と押しボタン信号を設置。豪雨時に河川の増水状況を確認できる河川監視カメラも、一級河川と同様に設置されるよう尽力してきました。







愛知県  
**三河地区**  
MIKAWA

活躍する団員たち!



**浅井よしたか**

(豊橋市、3期)

- ◆警察委員会理事
- ◆文化・スポーツ・観光振興対策特別委員会委員長

平成29年12月議会で、農業高校における6次産業化教育の充実について質問。その結果、平成32年度から「渥美農業高校」をモデル校に指定して、6次産業の魅力を実感しやすくするための模範会社を導入する予定との答弁をいただきました。またライフワークとして平成24年から取り組んできた公共施設及びインフラの維持・更新に関する長期財産支出見通し策定については、平成32年度までに策定される見込みです。



◀渥美農業高校



副幹事長  
**西久保ながし**

(岡崎市及び額田郡、2期)

- ◆健康福祉委員会
- ◆安全・安心対策特別委員会副委員長

平成30年2月議会で中小企業の人材育成支援を質問。愛知県には高い技術を持った元気なシニアが多く、定年退職後も働く意欲をもっており、そうした人たちに人材登録していただき人材育成を望む中小企業に派遣できる仕組みを作ってはどうかと提言。県は企業OBなどの熟練技能者を「あいち技能伝承士」として認定・登録し中小企業に派遣する「あいち技能伝承バンク」を新設・運用することになりました。



監事  
**鈴木まさと**

(岡崎市及び額田郡、2期)

- ◆文教委員会副委員長
- ◆産業振興・環境対策特別委員会

産まれてから40年余り、重度身体障がい者のこどもの世話をしてきた70代の母親は「自分が亡くなった後の子どもの居場所」確保を大変心配されています。障がい



者のこどもの兄弟にも日常的な世話までは頼みづらいからです。そういった声に応えるためにも、私は平成28年4月に岡崎市に開設した「愛知県三河青い鳥医療療育センター」(旧第二青い鳥学園)の移設事業に力を尽くしました。



監事

**おおたけりえ**

(豊川市、1期)

- ◆建設委員会
- ◆人づくり・福祉対策特別委員会

平成28年3月の健康福祉委員会で、愛知県内の子どもの貧困に関する課題を適切にとらえ対処するため「県内の実態調査を行うべき」と提案したところ、平成28年12月に県下一斉に「あいち子ども調査」が実施され、県内の子どもの貧困対策施策の拡充につながりました。また、団内でも「子どもの貧困対策研究会」の事務局長を務め、子どもの無料学習支援の拡充やスクールソーシャルワーカーの拡充と、要望事項の実現にも力を尽くしました。



**永井雅彦**

(刈谷市、2期)

- ◆振興環境委員会
- ◆人づくり・福祉対策特別委員会

平成29年2月議会で「物づくり産業における海外展開を進める中小企業が抱える課題解決に向けて」を質問。県企業の海外進出先の6割をアジアが占める中、インドネシアやカンボジアなどで工業団地を運営する豊通商と、中小企業支援に向けた連携協定を結ぶと知事が答弁。アジア進出に向けた県内企業の新たな支援策として、県が商社と提携するのは初めて!と実践的な強化策として話題を集めました。



**中村すすむ**

(豊田市、3期)

- ◆振興環境委員会
- ◆文化・スポーツ・観光振興対策特別委員会理事

再生可能エネルギーの活用として、灌漑用水を利用した小水力発電、下水道から発生するメタンガスを利用した発電などを提案して事業化に! また、議会改革にも取り組み、選挙時に候補者の政策を広報する「選挙公報」の発行を他党派に働きかけ2019年統一地方選挙から実現できました。今期は「外国人との共生社会づくり」や「水素社会づくり」にも取り組んでいきます。



政策調査会長  
**樹神義和**

(豊田市、2期)

- ◆文教委員会
- ◆中京大都市圏形成調査特別委員会

産業立県「あいち」の更なる発展に向けて次世代産業の育成、また少子高齢社会に向けた子育て、医療、介護の充実、さらにはニア中央新幹線開業を視野に入れた新たな「まちづくり」に取り組んでいます。そして団政策調査会長として、愛知の発展に向けた提言内容のとりまとめと、とりわけホームページや県政レポートの作成に力を注いでいます!



**嶋口忠弘**

(安城市、1期)

- ◆総務県民委員会
- ◆中京大都市圏形成調査特別委員会

平成30年2月議会で、15年連続で全国ワースト1位の交通死亡事故者数の5割弱が自宅から500m以内で発生している現状から、県民の安全・安心に向けた交通安全対策の推進について質問。その結果、死亡事故の約5割弱が発生している生活道路における交通安全対策として、ビッグデータを活用し、市町村と連携して「生活道路対策エリア」の登録を促進し、交通事故削減に取り組むと答弁をいただきました。



**渡辺 靖**

(西尾市、1期)

- ◆総務県民委員会
- ◆人づくり・福祉対策特別委員会副委員長

私の地元西尾市は、自動車関連産業と共に発展してきましたが、一方では、日本有数の抹茶の産地であり、それ以外にもウナギやアサリなど農水産物の生産拠点としても有名です。海・山・川に囲まれた豊かな自然と歴史的な史跡や名所も点在する西尾の商工業・農業・水産業の振興に私は力を尽くしたい。バランスの取れた産業がより発展するための施策を「県民目線」で取り組んでいきます。



**小山たすく**

(みよし市、3期)

- ◆総務県民委員会
- ◆安全・安心対策特別委員会理事

委員会室におけるALS(筋萎縮性側索硬化症)患者の口頭陳情を実現し、難病認定時等における諸課題を患者側の実態に即した体制、対応へと改善することを求め、担当者の増員、申請期間の短縮、申請窓口での対応等を改善することができました。その他、教員の多忙化解消や県の認知症施策(オレンジプラン等)、防犯カメラの設置促進では「防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン」策定などにも寄与しました。



Commit!